

令和元年 11月15日発行

第74号

全戸配布用

わが街 太子堂・三軒茶屋 スポットライト

発行：太子堂連合町会
ミニコミ紙編集委員会
事務局：太子堂
まちづくりセンター
電話：03-5787-6368

知っておくべき迎春の知識

太子堂八幡神社宮司 畑中一彦

あと一か月余りで、令和最初の新年を迎えます。そこで太子堂八幡神社の畑中一彦宮司に、日本の正月行事について知っておくべき知識を解説して頂きました。

Q 一月をなぜ正月というのですか？

A 年神様を迎える大切な月だから 私たちの命は、親から戴きます。その命を育むものは食料です。私たちの先祖は、稲を主食にしました。それ故に、先祖から続く命、つまり人の魂と稲の魂である稲魂を一つの神とした年神様を、年の始めに迎え、感謝を捧げ、子孫の繁栄と五穀の豊穰を祈りました。一年で最も大切なこの月を正月とい、年神様（正月様）は、子孫に幸せのお土産を沢山持ってきて下さいます。

Q 門松は何のためにあるのですか？

A 年神様を待つ印だから 松は神を待つ意味があります。年神様が子孫の家にやってくる時、玄関に門松があると心待ちにしているのだなど、お喜びになります。それ故に、正月の期間を松の内といえます。その間、注連縄がかけられるのは、神在の期間を表します。

尚、正月や祭事・慶事のお飾りは、弔事の時の一夜飾りを避けなければなりません。

Q 鏡餅は食べていいのですか
鏡開きの日に食べる習わしです

鏡餅は年神様の依り代ですので「年玉」といわれます。床の間や神聖な場所に年棚を設けて鏡餅を飾り、訪問した年神様がそこに宿ります。

鏡餅というのは、その形が神社の御神体とされる円鏡に似せたものです。因みに頂きに飾るみかんは、橙の代り、家門代々の栄えを祈るものです。鏡餅は一般に一月十一日に鏡開きとい、刃物を使わず割って雑煮や汁粉、あらねなどにして食べ、年神様の御利益を頂きます。

Q 正月のお小遣いはなぜお年玉と
いうのですか

A 分配する年神様の魂（年玉）を宿した餅が、後世お金や他の物品に代わったから 「年玉」の鏡餅を食べることにより、年神様の魂が体に宿り無病息災の守護を戴きます。そのことにより年齢を一つ重ねますので、鏡餅は重ね餅にします。この年の数え方を、「数え年」といいます。

この伝統で、今日でも厄祓いや七五三などは数え年で行います。

Q 大晦日は寝てはいけないって本当
ですか

A 本当です

今は午前零時を以て新年元日としますが、時計がなかった時代は、日没が一日の始まりで、大晦日の夜から正月が始まりました。暦の上では午前零時から新年ですが、今日でも大晦日の夜に年神様が来訪する考えが残っており、そのため寝ないことがよいと考えます。

Q 神棚に神社のお札を新しくお祀り
しますが、年神様も祀らなければい
けませんか

A お祀りして下さい

神棚に祀る神様は、お伊勢様や氏神さまの御分霊ですが、年神様は、正月に神界から来訪する血縁の最も身近な神様です。御神座は鏡餅で、床の間など清らかな場所にお祀りして下さい。



ところで皆様は、太子堂八幡神社の手水舎（参詣者が手や口を漱ぎ浄める所）の奥に、うさぎが飼われているのをご存知ですか？

神社の公園にたった一羽、寂しく捨てられていたところを拾われ、神社で引取って育てていました。



その後、飼主の事情で、飼育出来なくなったもう一羽が加わり、幸運にも「つがい」になり、命拾いした二羽から、多い時には二十羽以上に増えたため、「幸運と子孫繁栄」の「幸せうさぎ」と名付けられ、元気に暮らしています。

太子堂のお祭りだ〜!

元年10月13日



どどどん

えびす太鼓だぜ



わっしょい

わっしょい

